

# 令和4年度 生活期リハビリテーション研修会

参加形式：Zoomミーティングによるオンライン

(千葉県訪問リハビリテーション実務者研修会)

主催：千葉県理学療法士・作業療法士・言語聴覚士連携推進会議

運営：千葉県訪問リハビリテーション実務者研修会実行委員会

## 「求められる訪問リハビリテーションとは ～自分たちに出来ることを考え・伝える～」

令和4年12月11日(日曜日)9:30～16:30

時刻	時間数	講義内容	説明	役割	所属	職種など	講師(敬称略)	
9:15		受付開始(早めの入室をお願い致します。)						
9:30		開講式			千葉県訪問リハビリテーション実務者研修会実行委員会			
9:40	60	在宅で遭遇する急変時の対応	セラピストが知っておくべき医療対応	座長	研修会実行委員会		宮阪 美穂	
10:40		質疑応答	講演を受けて現場で悩んでいることを相談	講師	日本医科大学千葉北総病院救命救急センター	医師	小田 有哉	
休憩(10分)								
10:50	30	訪問リハに求めること ～医師の立場から～	それぞれの職種の役割と連携について	座長	研修会実行委員会		大曽根/細谷	
11:20				講師	湾岸リハビリテーション病院	医師	近藤 国嗣	
休憩(5分)								
11:25	30	訪問リハに求めること ～訪問看護師の立場から～		講師	リハビリ訪問看護ステーションNEXTかとり	看護師	高橋 亜希子	
11:55				休憩(5分)				
12:00	30	訪問リハに求めること ～ケアマネの立場から～		講師	ケアプランときわ	ケアマネジャー	狩野 宏樹	
12:30			昼休憩(60分)					
13:30	60	求められるセラピストになるための「気づく力」を養うには(仮)	信頼されるセラピストになるには、徒手的な技術だけではなく、相手の思いに寄り添い、雰囲気を読み取り、適切に対応する能力が求められる。訪問セラピストとして必要な能力について考える。	座長	研修会実行委員会		鳥居 和雄	
14:30				講師	一般社団法人日本訪問リハビリテーション協会		宇田 薫	
休憩(10分)								
14:40	70	グループワーク(70分)	①訪問リハセラピストとしての役割とは何か ～自分たちに出来ることは何かを考える～ ②医師との連携を促進するには ～自分たちに出来ることをどうやって伝えるか～	座長	研修会実行委員会		佐々木 啓人	
15:50				参加者				
15:55	10	千葉県理学療法士会から総評	研修を通して参加者に伝えたいこと		千葉県理学療法士会	PT	田中 康之	
16:05	10	千葉県作業療法士会から総評	研修を通して参加者に伝えたいこと		千葉県作業療法士会	OT	坂田 祥子	
16:15	10	千葉県言語聴覚士会から総評	研修を通して参加者に伝えたいこと		千葉県言語聴覚士会	ST	宮阪 美穂	
16:25	5	閉会挨拶						
16:30	5	アンケート						

※講師については、変更になる場合がございます。詳細は各県士会ホームページにてご確認ください。